

事務事業名		退職被保険者等高額介護合算療養費給付事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	国保係	担当課長名	落合 眞	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 国民健康保険制度の適正運営の推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	16466	国保(事業)	2	2	4	退職被保険者等高額介護合算療養費				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成21年度～ 年度		根拠法令 条例等	国民健康保険法、介護保険法				
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業	
							任意的事業・義務的事業		義務的事業	
							実施方法		一部委託	
						事業分類		現金・現物給付事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
国民健康保険被保険者のうち、被用者年金各法に基づく老齢または退職を支給事由とする年金給付を受ける者であって、被保険者の期間等が20年以上であるか、または40歳に達した月以降の被保険者の期間等が10年以上である者の疾病及び負傷に関して、高額療養費の算定対象世帯単位で、医療保険及び介護保険の自己負担の合計額が著しく高額になる場合に、負担を軽減する仕組みです。					左記に同じです。						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					延べ給付件数	件	1	1	1		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
国民健康保険退職被保険者数					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
					退職被保険者(年度平均)	人	1,846	1,568	1,300		
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
医療保険、ならびに介護保険を合算した高額な療養費に対する自己負担額が軽減され、安心して医療、及び介護を受けることができます。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					1件当り給付額	円	30,875	22,739	48,000		
					1人当り給付額	円	16.7	14.5	36.9		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
国民健康保険制度が適正に運営され、安心して医療を受けられる。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
					1人当たりの医療費の伸び率	%	3.7	1.5	2.8		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	31	23	48			
	事業費計(A)	千円	31	23	48	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	31	負担金	23	負担金	48
	人件費	人	1	1	1			
のべ業務時間	時間	10	10	10				
人件費計(B)	千円	39	39	39	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	70	62	87	0	0		

事務事業名	退職被保険者等高額介護合算療養費給付事務	担当部	健康医療部	担当課	医療保険課	担当係	国保係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成21年8月1日から申請を開始しました。 高額療養費及び高額介護サービス費の支給を受けてもなお重い負担が残ることがあることから、両者の1年間の合算額についての限度額を設け、さらに負担軽減を図ることを目的として創設されました。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開始から日が浅いため、顕著な変化は見られません。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外です。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 経済的負担を心配せず、安心して医療、及び介護を受けることができるという点で、保険給付の支柱となる制度で、政策体系に結びついています。特に、国民健康保険と介護保険の両方の適用を受ける被保険者を救済する制度となっています。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 国民健康保険法第57条の3に「保険者は、一部負担金の額並びに介護サービス利用者負担額等の合計額が著しく高額であるときは、世帯主に対し、高額介護合算療養費を支給する。」と規定されている法定事務で、市が行わなければならないとありますが、給付事務の一部を国民健康保険連合会に委託しています。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 高額療養費及び高額介護サービス費の自己負担額の一部が軽減され、安心して医療を受けることができ、対象と意図は妥当です。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 法令で定められた給付を行うもので、成果を問うものではありません。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 診療報酬給付相応の負担金の支出のため、裁量の余地はありません。 また、最小の人員で事務に対応していますので、人件費の削減余地もありません。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案 医療や介護水準の向上により、難病などの治療方法や介護の適用事案が飛躍的に伸びており、医療費や介護費用が増加する傾向が見られ、支給の判定に係る所得区分の変更など、自己負担額変更の措置が必要となる場合もあります。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	法定事務のため、国民健康保険制度を市が運営する限り、廃止できません。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			